

Passion! Logic! Ambition!

第10回 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト

論理的な思考力や表現力を鍛え、想像力を交えて英語で語る「第10回全国学生英語プレゼンテーション」コンテスト(主催・神田外語グループ、読売新聞社)本選が11月27日、千葉市の神田外語大学で開かれた。全国の大学や専門学校など102校から747人の応募があり、予選を勝ち抜いた個人4人とグループ5組12人が審査員の前でアイデアを披露した。

(英字新聞ジャパン・ニュースは25日に掲載)

今年も2次予選はウェブ会議システムで実施。本選は発表10分、審査員と英語での質疑応答5分で行った。審査の結果、最優秀賞1組、優秀賞1組が選ばれた。インスパイアレーション賞は、各テーマから1組ずつ選ばれた。

手話するアバターが壁越える

「多様な学生が一つの教室で学ぶことは、これほどよい機会はない。多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。」



「多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。」

教育漫画でリテラシー テーマ①

趙梓瀛さん 名古屋外国語大学3年
 フェイクニュースについての情報を教育マンガにして配属し、小中学生に学んでもらう仕組みを提案した。実現できるかの見極めが難しかったと話す。難しいテーマについての対策を具体的に示す発表が評価された。

情報の真偽を見極め、信用していくニュース・リテラシーをどうしたら学校教育に導入できるかについて検討を重ねた。母校の小学校で教育マンガの内容を調べ、中学校の教師には学校の忙しい環境について取材した。

日本で生まれ育った。米国の映画やドラマが好きで、せりふや設定を暗記するほど見たことが真実豊かな英語に結びついた。

環境活動参加楽しく

宮岡佳那さん 福島慶徳さん 近森由衣さん
 テーマ② 上智大2年一専在生から

「人は大学の仲間、一緒に活動する仲間、一緒に活動する仲間。環境活動は、多くの人々が参加し、一緒に活動する仲間。環境活動は、多くの人々が参加し、一緒に活動する仲間。」

ゲームで金融学ぶ

タンポール・カンガス・スカイさん
 石戸廣太郎さん ラーマン・アリアンさん
 テーマ③ 国際教養大2年一専在生から

「ゲームで金融学ぶ。大学でグローバルビジネスを学ぶ。高校生など若い世代が金融について学ぶ機会が少ない現状を改善しよう。ゲームで投資を学ぶアプリを開発した。ためたポイントは、高校生が成人して証券会社に口座を開く時に、実際の日本国内で稼げるというアイデアだ。」

優秀賞

土谷菜穂さん 神田外語大学3年
 テーマ④

「学際的教育的ためのアプリ。教育の現場で、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。」

今回で休止に

「今年も2次予選はウェブ会議システムで実施。本選は発表10分、審査員と英語での質疑応答5分で行った。審査の結果、最優秀賞1組、優秀賞1組が選ばれた。インスパイアレーション賞は、各テーマから1組ずつ選ばれた。」

「説得する力」心強い ● 審査員から

審査委員長 沼田健児氏 (日本英語交際協会会長)
 「説得する力」心強い。審査員は、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。」

「他人に伝える力」

「他人に伝える力」というのは社会に出てからも重要だ。審査員は、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。」

「SDG」

「SDG」は、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。このコンテストを通じて、多様な文化や価値観を共有し、互いに学びあえる環境が求められている。」

※無断で転載することを禁じます。